

2021年1月号

J T C C ニュース (日本繊維技術士センターニュース)

2021年の新年を迎えて

(一社) 日本繊維技術士センター

理事長 嶋田幸二郎

新年あけましておめでとうございます。

本年も宜しく、お願い申し上げます。

平素は当センターの活動にご理解とご協力を頂き深く感謝申し上げます。

令和2年は期待を持って臨みましたが2月から年末まで新型コロナウイルス感染(COVID-19)の問題が収まることなく厳しい一年となりました。令和3年は皆様におかれましても、従来には様変わりの新年をお迎えになったことと思います。お互いに感染しないように留意して新しい時代に取り組んで参りたいと思います。

JTCCの活動も変化を余儀なくさせられています。教育活動では三密を避けるため、オンライン教育を推進しています。大学の講義は中止や対面方式からオンラインに切り替わっています。技術支援は海外に出張できない状態で国内支援のみになっています。このような変化に対応すべく必要な機器を充実させ、プロジェクト化を行い問題解決を図っております。

新しい取り組みとして、全国の繊維関係企業様の人材育成を支援させて頂くためにオンライン体制を構築して参ります。技術支援もオンラインによる方法を検討しています。“JTCC ニュース”も最近のニュースを迅速に届ける役割を担って参ります。

幸いにもコロナ対応のワクチンも数種類開発され、一般の人に適応されそうです。これにより従前の活動方法だけでなく新しい活動形態ができ、益々のご飛躍されることを期待申し上げます。

皆様の健康を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維JTCC」で検索できます。
「月間行事」「教育、講座」 (受講の申し込みや詳細はJTCCホームページをご覧ください)

< JTCC 講座のご案内 >

(各講座は、募集人員の制限、オンライン化などコロナ対策を行っています。)

◆ 「知っておきたいアパレル製品の基礎知識」 Part 2 講座 (申込受付中)

アパレル製品を取り扱っている方の必須の基礎知識を分かりやすく学べます。

アパレル製品に使用される繊維材料の特性や生地の製造方法、染色加工法、アパレル製品のマーケティング、縫製工程、試験・検査方法、アパレル製品の品質表示や関係する法律などを解説します。

消費者クレームの問題解決方法について、詳細に説明します。

日時	会場	募集人員	受講料	申し込み方法
令和3年2月 13日(土曜日) 20日(土曜日) 27日(土曜日) 毎回 13時~17時	オンライン方式 Teams 利用	100名	20,000円	FAX 06-6484-6575 Web JTCC ホームページ 参照

詳細は後日、ホームページをご覧ください。(2021年1月以降)

◆ 「2021年度 技術士二次試験受験講座」 (詳細はJTCCホームページを確認して下さい)

2021年3月より講義を開催します。(予定日) 講義は対面方式で行います。

月日	内容
3月6日(土)	論文の書き方、必須科目
3月13日(土)	選択科目
4月3日(土)	演習問題の個別指導
4月24日(土)	模擬試験
5月29日	模擬試験の結果に基づく指導

◆ 「2021年度 TES 受験講習会」 (詳細はJTCCホームページを確認して下さい)

2021年4月より講義を開催します。

◆ 「技術士試験のオープンセミナー」 (詳細はJTCCホームページをご覧ください。)

大阪会場、東京会場、福井会場のセミナーは、通信型セミナーで行います。日程は後日連絡します。

◆JTCC「第82回 公開講演会」(繊維部会)

(詳細、参加申し込みはJTCCホームページをご覧ください。)

回	テーマ(講師)	日時	会場
82回公開講演会	マスクなど衛生関連の機能性試験法 カケンテストセンター 齋藤寿叙氏	2021年2月20日(土)	大阪産業創造館 6階研修室 AB
	二酸化塩素の化学 大阪ソーダ 原 金房氏		

公開講演会の参加費： 2000 円 資料のみは 1000 円

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省

新情報はなし

2. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

●化繊協会 (詳細は化繊協会のホームページ)

2020年10月度の化学繊維生産・在庫の概況 (速報)

2020年11月30日

【生産動向】

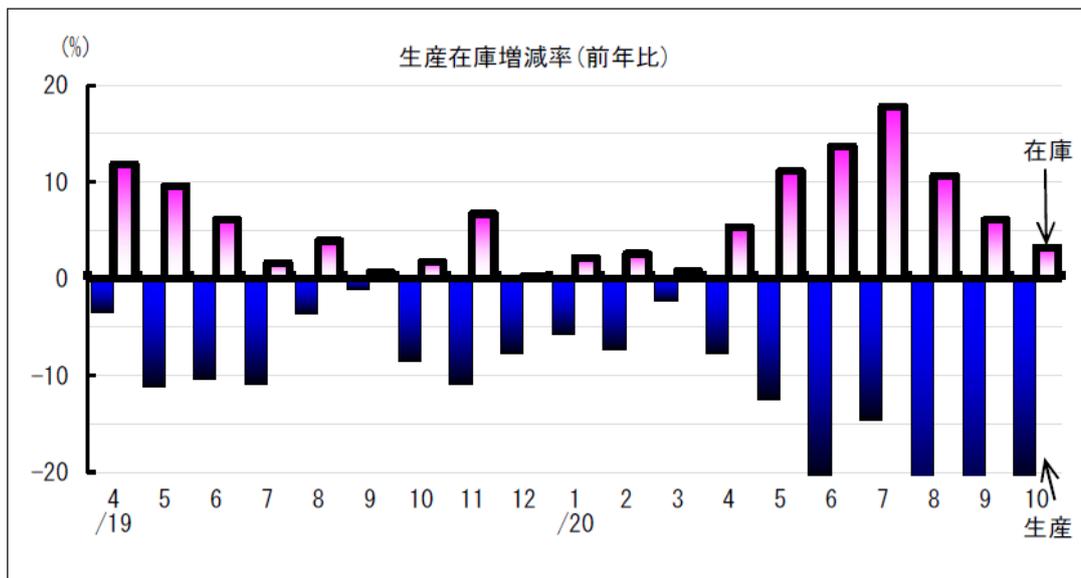
化学繊維生産は51,267 トン、前年同月比21.0%減、うち合成繊維生産は40,122 トン、前年同月比21.2%減であった。

主要品種では、ナイロンFは前年同月比39.0%減の3,253 トン、アクリルSは同27.3%減の7,835 トン、ポリエステルFは同23.6%減の7,354 トン、ポリエステルSは同26.1%減の4,552 トンであった。

【在庫動向】

化学繊維在庫(生産者)は96,789 トン、前月比6.7%減、前年同月比3.3%増、うち合成繊維在庫は70,706 トン、前月比6.4%減、前年同月比5.6%の減であった。

主要品種では、ナイロンF 10,304 トン、前月比15.3%減、アクリルS 14,115 トン、同1.2%増、ポリエステルF 8,374 トン、同5.4%減、ポリエステルS 14,711 トン、同4.0%の減であった。



新型コロナの関係で、生産調整が間に合わず、在庫が増加したと思われる。その後に生産に調整が行われ、在庫は減少している。

●**日本綿業振興会**（詳細はホームページ参照）

Gap Inc.が2025年までにサステナブルなコットンを100%にする取り組みの一環として、U.S.コットン・トラスト・プロトコルとテキスタイル・エクスチェンジの2025サステナブル・コットン・チャレンジに加盟

●**日本染色協会**（詳細はホームページ参照）

・なし

3. (一社) 日本衣料管理協会、(一社) 繊維評価技術協議会（織技協）

● (一社) 日本衣料管理協会

新刊書紹介

TES 試験問題集の最新版(2018～2020年度分掲載)ができあがりました。

2021年1月に「新訂4版 繊維製品の基礎知識シリーズ」を発売予定

● (一社) 繊維評価技術協議会(織技協)

・2020年度 JNLA 技能試験「日用品分野/ホルムアルデヒド試験(JIS L 1041)」

JNLA 技能試験

2020年度 JNLA 技能試験「日用品分野/ホルムアルデヒド試験 (JIS L 1041)」への参加試験所の募集を開始しました

● 関西ファッション連合

・なし

Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆ <繊維学会誌> 2020年12月号

【特集】

<セルロースナノファイバー (CNF) の応用研究と実用展開(2)>

○セルロースナノファイバーの多様な展開

神戸大学 西野 孝

- ・複合材料のマトリックスとしての CNF : 複合材料の弾性率について繊維径との関係解説 F
- ・油吸収・分解担体としての CNF : CNF の油吸収率の高収率。吸収した油の加水分解性。
- ・足場材料としての CNF : コラーゲンに足場として TOCN を混合すると強度や弾性率が向上する。

○蒸発乾燥による多機能性 CNF 多孔体の形成

東京大学 佐久間 渉、齋藤継之

- ・ CNF 多孔体 : 蒸発乾燥方法で得られた CNF 多抗体の利用方法の提案
- ・ CNF キセロゲル調整条件の検討
- ・ 物性解析

○界面制御技術を用いた TEMPO 酸化セルロースナノファイバーの応用事例について

花王(株) 中川晴香、大和恭平、吉田 穂、熊本吉晃

- ・疎水的な樹脂(エポキシ樹脂、アクリル樹脂など)と親水性の TOCN を分散させるための界面活性剤の種類や技術を紹介している。
- ・ TOCN の界面制御時述について
- ・改質 TOCN 配合樹脂“LUNAFLEX”の開発
- ・改質 TOCN による有機溶剤中の増粘効果と粘性制御

○CNF によるナノネットワーク形成と応用

旭化成(株) 小野博文

- ・ CNF からなるゲル材料でのナノネットワーク
- ・ ナノネットワークからなる CNF シート材料の開発
- ・ CNF によるネットワーク形成と応用

注) TOCN : 酸化セルロースナノファイバー

<繊維・高分子の測定法>

○X線による繊維・高分子構造の研究

京都大学 登阪雅聡

- ・繊維や高分子の構造の研究に用いられる X 線回折及び散乱について平易な言葉を用いて解説している。
- ・基本的な事項
- ・広角 X 線回折(WAXD)
- ・平板検出器による測定
- ・小角 X 線散乱(SAXS)

【繊維学会記念連載】

○アパレル製造卸 成長期から成熟期に入る 1990年代

繊維・未来塾 幹事 松下義弘

◆ <繊維製品消費科学会誌> 2020年11月号

○外国人技能実習制度への取り組みについて

三起商行(株) 上田泰三

○京黒紋付染の技術で衣類を再生

(株)京都紋付 荒川 徹

○加賀友禪

加賀染振興協会 中川聖士

○「感染と繊維」

AAMI レベル3 をクリアしたアイソレーションガウンの開発

倉敷紡績(株) 青木智之

○「SDGs への取り組みと環境配慮型繊維」

環境配慮型透湿防水素材“SAITOS”シリーズ

小松マテーレ(株)

山田浩之

○高精度ボディスキャナとヒューマンメトリクス

(株)スペースビジョン

亀嶋英人

◆<繊維機械学会誌>

「月刊せんい」 2020年11月号

○持続可能な衣服の生産と消費を考える。—南アジア（バングラディシュとインド）の事例から

茨城大学 長田華子

1. 問題の所在と課題、2. 持続可能な開発目標とジェンダー平等（「死活的に」重要な貢献が意味するところ
3. バングラディシュの事例（ラナプラザの事故とその後） 4. インド西ベンガル州の事例（低価格の下着生産の実態） 5. 持続可能な衣服の生産と消費、何を考え、何をすべきか

○繊維製品の形態安定性脳を評価する新しい方法

東京家政大学 森 俊夫

○ジクロロメタン代替ポリメタクリル酸メチル用接着剤の検討

(地独行法人) 東京都立産業技術研究センター 安田 健、藤巻康人

ジクロロメタンは、溶剤として用いるには経口毒性がある。代替品として、ギ酸エチルとベンジルアルコールの混合物を提案している。その割合を適正にすることで接着までの時間を短くできる。

(月刊誌)

◆<加工技術>

2020年11月号

○コロナ禍およびコロナ後の繊維産業の在り方

福井大学 堀 照夫

- ・新コロナで変わった繊維産業
- ・コロナ後の繊維産業の在り方
 - (1) 超臨界染色実用化のその後
 - (2) インクジェットプリントの最先端
 - (3) スマートテキスタイル関連の新情報

○「紫外線遮蔽加工」SEK マーク 10月1日から認証を開始

繊維評価技術協議会

○産業資材を中心とした直近の海外トピックス

シオタニ&オフィス 塩谷 隆

IT 関連 (上)

◆<不織布情報>

2020年11月号

○特集：建築・土木・農業資材

- ・日本のジオテキスタイル技術で海外進出 持続的開発目標を目指す！
- ・防音床材用不織布緩衝材「パネロンスキップ」
- ・「ジオフリース除草シート」「ジオフリース S」
- ・超微粒子シルト活用の新技術「グリーンビズどのう WS」
- ・軽く・丈夫・腐らない養生板
- ・「エアリモ」を使用した不織布のマスクへの採用について

(株)田中

ダイニック(株)

前田工織(株)

小松待てーレ(株)

帝人フロンティア(株)

宇部エクシモ(株)

◆<新聞、他>

・2020年1月～10月 の衣料品の輸入（ニット製品、布帛製品、付属品）

順位	国	数量：百万点（増減%）	シェア	金額：億円（増減%）	シェア
1	中国	475 (▼15.5)	60.7	12,151 (▼19.3)	55.2
2	ベトナム	111 (▼9.7)	14.5	3,590 (▼9.3)	16.4
3	カンボジア	35 (▼10.4)	4.5	958 (▼9.7)	4.4
4	バングラデシュ	49 (▼12.2)	6.4	945 (▼13.6)	4.4
5	ミャンマー	33 (▼2.6)	4.3	918 (▼6.4)	4.1
	全世界計	778 (▼13.8)	100	21,953 (▼16.8)	100

出所：日本貿易統計

コロナ禍の影響で、輸入量、金額が大幅に減少している。
中国は大幅に減少している。

・FB プロフェッショナルへの道 （織研新聞）

- 10月23日 日本の衣料品の市場規模、金額、供給量、平均単価の10年間の変化
- 11月13日 服はどこでどれくらい売られているのか？ 市場規模と価格変化、専門店・量販店・百貨店の市場規模、服の値段相場
- 11月27日 服の価格はどう変化したか？ 通販市場が大きく伸びている
- 12月11日 服はどこで作られているか？ 市場に供給される服の生産地、供給量に占める湯入のシェア、輸入の主力相手国は？

（以上の記事は、10年間の推移がグラフで示されていますので分かりやすい。）

IV. 企業紹介、製品紹介

(一財)ボーケン品質評価機構

品質保証、試験・検査は
BOKENにお任せください!



開催日 ※2020年に東京・名古屋で開催したものと同内容です

岡山 : 2021.1.18[月] ▶ 1.22[金]
大阪 : 2021.3.8[月] ▶ 3.12[金]

詳しくはこちら
ボーケン HP ▶

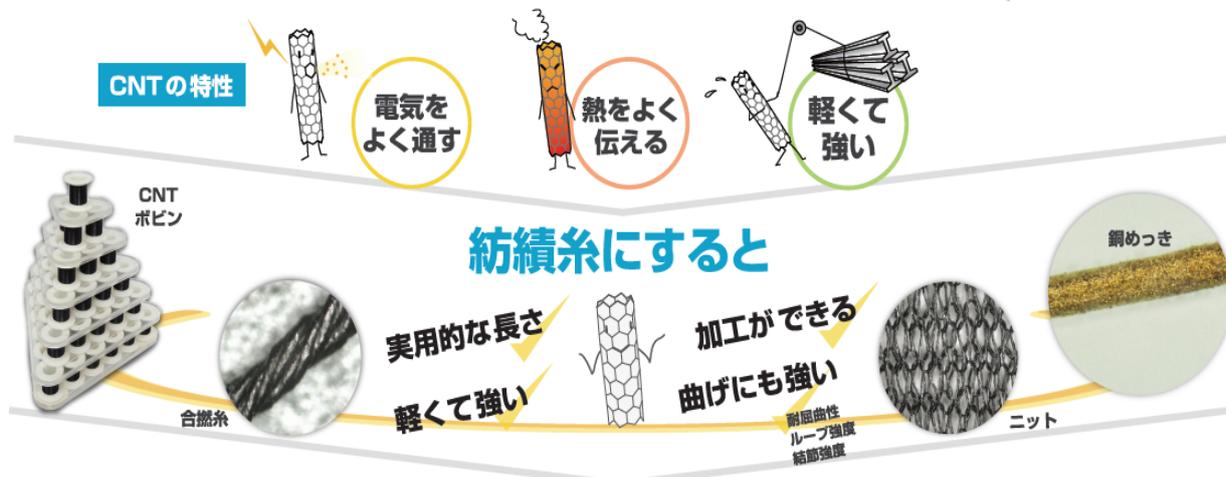


一般財団法人 ボーケン品質評価機構

100%カーボンナノチューブ

カーボンナノチューブ紡績糸

未来の製品に向けて活用してみませんか？



期待される用途



航空宇宙分野



ウェアラブルセンサー



人工筋肉

他にも… 軽量電線・高応答ヒーター・ソフトアクチュエータ・センサー など

muratec 村田機械株式会社

〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町 136
TEL : 075-672-8227 FAX : 075-671-3865
<https://www.muratec.jp/>

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

ご希望の方は、Jtccnews@mbr.nifty.com に投稿してください。(掲載料金は無料です)

賛助法人会員様の声(技術的な問題, JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先:jtccnews@mbr.nifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、Jtccnews@mbr.nifty.com です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469